

市民と議員で新たな地域を創り出す

埼玉政経セミナー

市民が設定する市議選挙の争

パート 2

点とは

— 来年4月実施の統一地方選挙に向けて —

日時 12月3日（月）午後6時30分

場所 越谷市市民活動支援センター5階

越谷市弥生町16番1号 TEL 048-969-2750

講師 江藤俊昭 山梨学院大学大学院教授

コメンテーター ①津曲俊明（千葉県船橋市議会議員）
②岡田英夫（市民活動団体フラット）

定員 80人（先着順）（開場午後6時15分）

受講料 1000円（会員は500円）

9月30日に実施された沖縄県知事選挙の結果は、「オール沖縄」が支援した玉城氏が、自民党、公明党が全面支援した佐喜真氏に約8万票の大差をつけて当選しました。

しかも沖縄知事選挙では過去最多の39万票を獲得し台風の直撃の中、投票率は前回とほぼ同様の63.24%に達しました。勿論選挙の争点は基地問題ではあったものの、新たな貧困や格差の問題を始め生活基盤を現状から未来に向けて県民自身を変えて行く、その主体をなる自覚がうまれつつあること示しました。

まさに自治や民主主義を地域の中でどの様に涵養するのかモデルとなり、立憲民主主義を深めて行く舞台となりました。その意味では来年実施される統一地方選挙での争点の設定や公約の判断基準を確立していく事が求められており、同時にそれは市民自身が自分たちの地域をどの様にして行くのか、と言う課題でもあります。

このため政経セミナーでは、「市民が設定する市議選挙の争点とは」をテーマに連続講座を開催し、これまでの様に選挙が終わってしまえば、あとは議員に白紙委任をするという政治の消費者からオーナーシップへの転換を目指して行きます。

第1回目の廣瀬先生の講演では、消費者市民からオーナーシップを自覚する市民への転換が強調されました。この視点から、今回は江藤先生から更に統一地方選挙を住民自治の活性化にどう結び付けるのか、をテーマに講演して頂き、来年選挙に臨む津曲市議や日常的に議員と市民の関係性を作り出す市民運動を担っている岡田さんからのコメントを始め、会場で論点を深めて行きます。



主催 埼玉政経セミナー（代表 白川秀嗣 越谷市議会議員）

問い合わせ・連絡先：「埼玉政経セミナー」事務局 三輪辰宏 電話 090-3917-0249

■ 今後の埼玉政経セミナー特別講座の案内

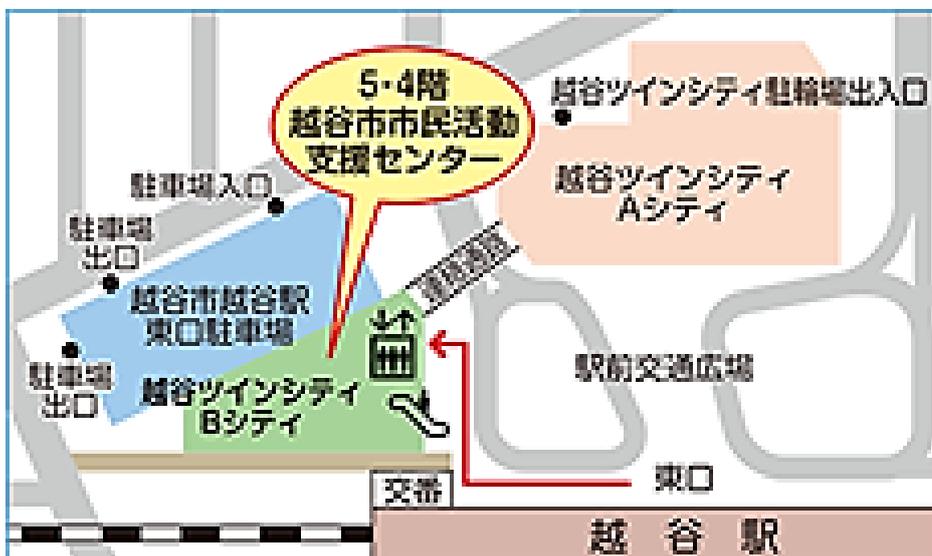
開催内容



- 第1講義 10月26日 市民が設定する市議選挙の争点とはパート1
法政大学教授 廣瀬克哉
- 第2講義 12月3日 市民が設定する市議選挙の争点とは パート2
山梨学院大学大学院教授 江藤俊昭
- 第3講義 2月 市会議員・公約を選ぶ、市民の判断基準（仮題）
市民運動家（予定）
- 第4講義 5月 我ら統一地方選挙を闘って（仮題）
市議会議員（予定）
- 第5講義 6月 参議院選挙・埼玉県知事選挙に臨む、市民の責任（仮題）
学者（予定）

■ 会場案内図

越谷市市民活動支援センター5階会議室
越谷市弥生町16番1号 越谷ツインシティ Bシティ5階
（越谷駅東口から徒歩1分） TEL：048-969-2750



■ 埼玉政経セミナー <http://access.moo.jp/koshigaya/seikei/>